

氏名： 和田 英信 (WADA Hidenobu)
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
職名： 准教授
学位： 文学修士 (1987)
専門分野： 中国古典文学
E-mail： wada.hidenobu@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

中国文学
Chinese literature

◆主要業績

- ・論文 (単著) 「日本における文話・詩話」 (「大学院教育改革支援プログラム・日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」平成 19 年度活動報告書・海外研修事業編、2008 年 3 月)
- ・論文 (単著) 「日本江戸末期至明治、大正時期的文話」 (「お茶の水女子大学中国文学会報」27、2008 年 4 月)
- ・論文 (単著) 「日本近世期の詩話について」 (「国文学・解釈と鑑賞」平成 20 年 10 月号、2008 年 10 月)
- ・論文 (単著) 「模擬と創造」 (「集刊東洋学」100、2008 年 11 月)

◆研究内容 / Research Pursuits

今年度は、従来従事してきた日本詩話の研究に加えて、古典文学の世界における「模擬」という営みに着目する新たな研究に着手した。

数年来課外に行ってきた王安石絶句の読解については、他大学の教員・院生の参加も得て、従来の研究を公開すべく、成果の整理と再構成を今年度より開始した。

◆教育内容 ／ Educational Pursuits

大学院教育においては、二名の後期課程学生の論文執筆を指導し、両者ともに査読を経て、学術誌に最初の研究論文を掲載した。また一名の前期課程学生の修士論文執筆を指導し、当該学生は後期課程に進学した。またロンドン大学 SOAS との共同ゼミに参加し、院生の研究発表の指導にあたった。

学部教育においては、中国語教育ならびに専門教育に従事し、三名の古典文学を専攻する学生の卒業論文執筆を指導した。

◆研究計画

古典文学の世界における「模擬」という営みに視点をすえることにより、過去における「創造」とはいかなるものか、それは近代以降の文学とどのように異なるのか、を考えている。関連するテーマとして、楽府・唱和詩などにおける主題・詩語・イメージ・踏襲 intertextuality の問題などにも関心を寄せている。日本における本歌取りとの比較も、研究課題のひとつとなるであろう。ともに過去の文学に対する因循と創新を文学創造の契機とする日中の古典文学の共通点・相違点を、明らかにしていきたい。

◆メッセージ

三千年を超える長い歴史を有する文学は、中国をおいて他に見いだすことはできません。研究すべき課題はわれわれの前に、無限に豊かに、魅力的にのこされています。